

Information

夏の感染症情報

学術データインフォメーション課課長 濱川 以行
 （お問合せ先：0120-14-8734 / 082-247-4325）

咽頭結膜熱（プール熱）

特 徴

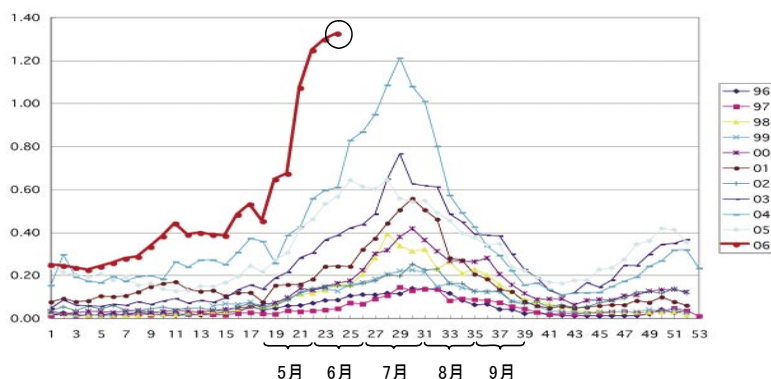
アデノウイルス（主に3型）によるウイルス性の感染症で、発熱・咽頭炎・結膜炎が主な症状です。

感染経路

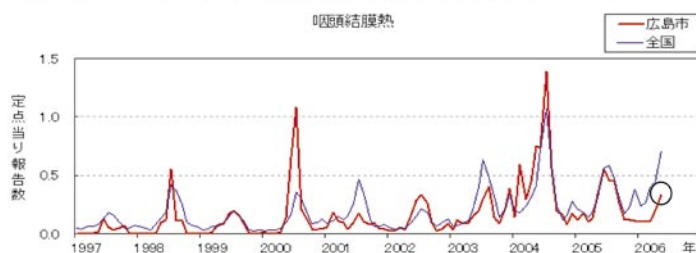
- ①感染者のせき、くしゃみによって、唾液などがエアロゾル化し、放出されたウイルスを吸い込むことで感染します。
- ②患者に接触したり、患者が使用したもの（例：タオル、洗面器、食器類 etc.）を共用することによって、ウイルスが手や指を介して目や口から入り感染します。
- ③プールやお風呂などで、汚染された水からウイルスが結膜に侵入することで感染します。プールの衛生状態が悪いと、集団感染を起こしやすくなります。

流行状況

■ 全国の過去10年間の流行状況（国立感染症研究所感染症情報センター）



■ 広島市の過去10年間の流行状況（広島市感染症情報センター）



全国的には過去10年間で一番今年の報告数が多く、警戒を要します。

広島市の状況は全国の報告数にはおよびませんが、流行期に入りますので、今後の動向に注意が必要です。

検査案内

【検査項目名】迅速アデノウイルス抗原 【材料】専用綿棒での咽頭ぬぐい液

夏の感染症情報

A群溶血性連鎖球菌咽頭炎

特 徴

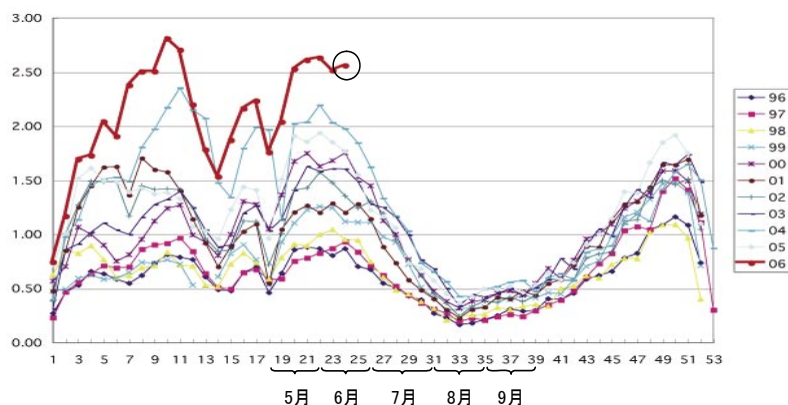
A群溶血性連鎖球菌によって引き起こされる急性の咽頭炎です。この菌は咽頭炎だけでなく、膿^{のう}痂^{かしん}疹^{しょうこうねつ}（うみを伴ったできもの）、猩紅熱、中耳炎、肺炎、関節炎、髄膜炎など、いろいろな病気を起こします。

感染経路

- ①この疾患は、患者との接触を介して伝播するため、患者との濃厚な接触をさけることが重要です。
- ②急性期の感染率がもっとも高く、兄弟間の感染率は25%と報告されています。
- ③うがい、手洗いの励行など一般的な予防方法も有効です。

流行状況

■ 全国の過去10年間の流行状況（国立感染症研究所感染症情報センター）



■ 広島市の過去10年間の流行状況（広島市感染症情報センター）



全国的にも咽頭結膜熱と同じで過去10年間で一番報告数が多い年となっています。広島市も過去10年間でやはり一番多い状態が続いています。

検査案内

【検査項目名】A群β溶連菌迅速検査 【材料】専用綿棒での咽頭ぬぐい液

夏の感染症情報

ヘルパンギーナ

特 徴

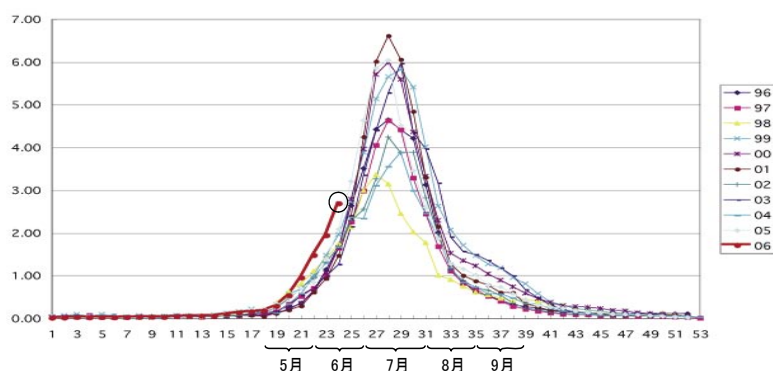
ヘルパンギーナは、主に A 群コクサッキーウイルス（4 型が最も多く 10 型、6 型などが続く）が病原体です。発熱と口の中に水泡ができることが特徴です。咽頭結膜熱（プール熱）や手足口病とともに、いわゆる「夏風邪」の代表的な疾患です。

感染経路

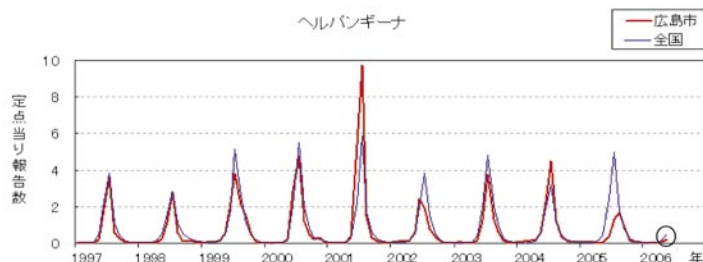
- ①咳、くしゃみなどによる咽頭から排泄されるウイルスの飛沫感染や、便に排泄されたウイルスによる経口感染です。
- ②回復後も 2～4 週間の長期にわたり便にウイルスが排泄されますので、手洗い・うがいの励行が必要です。

流行状況

■全国の過去10年間の流行状況（国立感染症研究所感染症情報センター）



■広島市の過去10年間の流行状況（広島市感染症情報センター）



ヘルパンギーナの感染ピークは10年ほとんど変わらず6月下旬から8月初旬になります。広島市では2001年に比較的大きな流行がみられました。

検査案内

【検査項目名】コクサッキーウイルス A 群 4 型(10 型、6 型など) 【材料】血液 3ml

※掲載している流行状況データにつきましては、国立感染症研究所感染症情報センターおよび広島市感染症情報センターの許可を受けた上で使用しています。